

産業基盤の強化

県計画

各論シリーズ

産業基盤の整備は、地域開発の前提であり、その推進上きわめて重要だ。中でも交通通信施設の拡充は、今後の工業化、農林漁業の近代化、観光の発展にともなって特に急がれる重点課題ともいえよう。本号ではこれらの問題を中心に、水資源、防災体制などの現況と対策についてふれてみるとした。

交通計画

現況と問題点

経済の飛躍的な成長とともになう經濟活動の活発化は、必然的に交通需要の増大をもたらしている。本県における昭和三から三八年までの輸送量の伸びをみると、図1に示すように、貨物については、鉄道が一・二倍といいう微増であるのに対し、自動車は二・一倍といいう高い伸びを示し、旅客についても、鉄道の横ばいに対して、自動車は一・七倍と大幅に増大している。

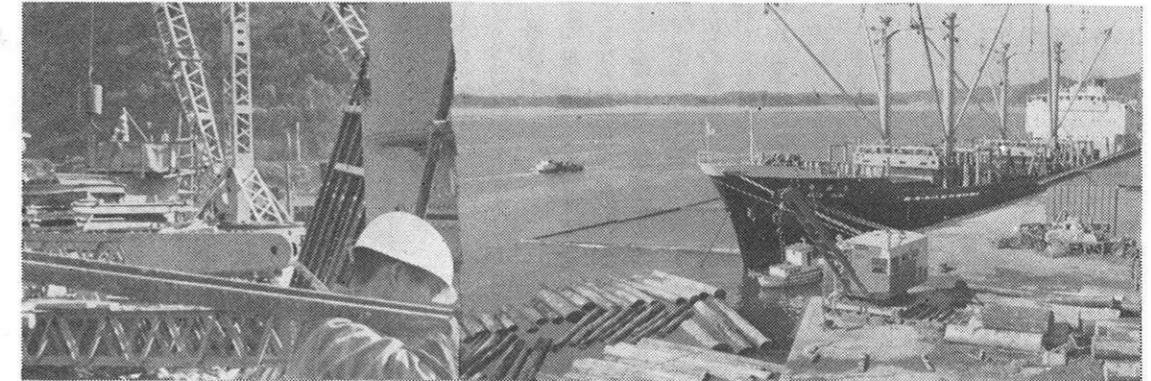
また、航空機の利用についても、熊本空港における利用状況は、三五年から三八年の間に発入員で八・七倍、着人員で六・九倍と異常な伸びを示している。

このように、交通需要の増大とともに、交通構造の面においても、鉄道輸送に對して自動車輸送や航空機輸送が急激に増加する傾向を示しており、交通能率化への欲求が高まりつつある。

特に、大量輸送手段としての自動車保有台数の伸びは、表1のとおり、三三年から三八年の間に二・六倍と全国平均の伸びとほぼ等しく、特に三七年、三八年の増加率は全国を上回っている。車種別には、自動二輪車、軽自動車の四倍が首位を占め、乗用車の三倍がこれに次いでいる。

さらに、県内主要地点における三七年の交通量をみても、表2のとおり、三三年に対し一・二一・三倍、平均一・七倍の増加率となっている。

増大する自動車交通需要を処理すべき



本県の国道および県道の現況は、表3のとおり、実延長三、八〇〇キロに対して、改良延長は八三〇キロで、全国平均三二%に対し、二二%の改良率である。また舗装済み延長は三四五キロで、全国平均一六%に対し九%の舗装率にとどまり、改良率、舗装率とも全国平均を大きく下回っている。道路種別ごとに、一級国道は改良率、舗装率ともに全国平均をわずか

に上回っているが、二級国道、主要地方道一般県道は、いずれも全国水準を大幅に下回っており、特に二級国道は、改良率で全国の $\frac{1}{3}$ 、舗装率で全国の $\frac{1}{2}$ 以下と、その整備は極めて遅れている。

街路については、表4のとおり、改良済み二四%、舗装済み一七%に過ぎない。

国道および県道の普及状況は、表5のとおり、一km当たりまたは人口千人当たりの普及率は、一般に全国平均を大きく上回っている。

しかし、このうちには、未改良延長二、九八八キロ(うち自動車交

通不能一三八キロ)を含んでいるので、改良済み延長および舗装延長についてその普及率をみると、全国平均に比べて著しく低い状態となっている。

従来の道路輸送が都市内輸送、短距離輸送を主体としていたのに對して、最近は中長距離輸送も受け持つようになり、道路輸送の質的転換が進行している。このような道路輸送の長距離化に対応して、最近自動車の大型化、重量化、高速化の傾向が顕著に現われているが、道路整備が追いつかず、自動車交通と道路施設のアンバランスを生じ、交通の混雑、速度の低下などいわゆる交通麻痺の

表1 自動車保有台数の推移

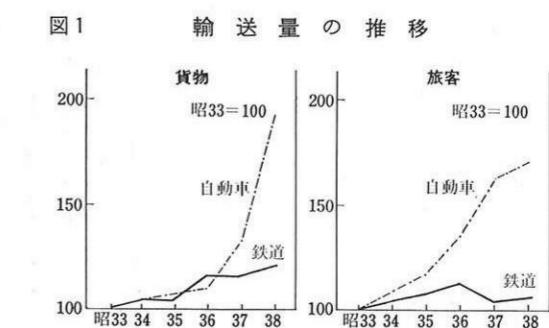
区分	昭33 台数(A)	34		35		36		37		38		伸び率(%) の率
		台数	対前年比	台数	対前年比	台数	対前年比	台数	対前年比	台数(B)	対前年比	B/A
総台数(台)	29,293	33,196	113	39,290	118	45,863	116	56,379	125	72,849	129	250 20.1
乗用車	2,280	2,832	124	3,696	131	4,328	117	5,298	122	6,585	124	289
トラック	13,781	14,825	108	16,029	108	16,716	104	18,780	112	21,873	116	159
バス	806	846	105	928	110	977	105	1,036	106	1,132	109	140
自動二輪車	11,916	14,143	119	18,021	127	23,191	129	30,522	132	42,409	139	356
軽自動車	510	550	108	616	112	651	106	743	114	850	114	167
特殊車等												
全国(千台)	2,404	2,898	120	3,573	123	4,400	123	5,403	122	5,937	110	248 19.9

(資料) 熊本陸運事務所調べ

表2 自動車交通量の推移

区分	調査箇所数	昭33 (A)	昭37 (B)	伸び率 B/A (%)
総数(台/日)	137	104,991	178,610	170
一級国道3号線	20	31,803	52,434	165
〃 57号線	13	12,891	25,288	197
二国熊本佐賀線	4	3,915	8,894	228
〃 熊本延岡線	6	1,768	2,479	139
〃 熊本宮崎線	7	4,484	6,180	136
〃 中津阿蘇線	4	2,209	2,823	128
〃 牛深宇土線	4	1,043	1,196	119
〃 人吉都城線	1	179	294	164
〃 小林阿蘇線	2	383	499	130
〃 人吉川内線	1	102	199	196
〃 水俣宮崎線	1	297	373	125
主要地方道	47	30,829	54,084	180
一般地方道	27	15,088	23,867	158

(資料) 県道路課調べ



注) 鉄道は、熊本鉄道管理局管内輸送量で、大牟田駅など一部県外のものを含む。

(資料) 熊本鉄道管理局、県トラック協会、福岡陸運局調べ

